
秋田県観光振興アクションプラン

2026年3月
秋田県観光文化スポーツ部

目次

第1 策定の趣旨	1
第2 現状と課題	1
1 本県観光の現状	1
2 取り組むべき当面の課題	6
第3 アクションプランに掲げる取組	7
1 施策が目指す姿	7
2 代表的な指標	7
3 施策の方向性	8
方向性1 観光産業の経営力の強化	10
方向性2 マーケティングによる効果的なプロモーションの展開	12
方向性3 秋田の特色を生かしたツーリズムの推進	14
方向性4 多様な旅行ニーズに対応した受入態勢の整備	16
方向性5 戦略的なインバウンド誘客の推進	18
4 進行管理	20
5 施策の体系図と事業概要	22
令和8年度 観光部門施策・事業体系図	23

第1 策定の趣旨

本県では、2026年度を初年度とする「秋田県総合計画～秋田再興への第一歩～」の政策2「観光・交流」において、旅行消費額の拡大(2029年目標:2,384億円)と外国人延べ宿泊者数の増加(2029年目標:331千人泊)を政策に関する指標として設定し、その実現に向けた施策の方向性や主な取組を示しました。

本アクションプランは、これらに対する具体的な説明を加え明確化を図るとともに、それに連なる事業体系、さらには様々な個別事業を示すことで、その実効性を確保するために策定するものです。

本アクションプランの計画期間は、「秋田県総合計画」の期間である、2026年度から2029年度までの4年間とし、社会情勢の変化や新たな課題へ柔軟に対応するため、毎年度、施策の進捗状況の検証と見直しを行い、予算編成に合わせて改訂していきます。

第2 現状と課題

1 本県観光の現状

本県は、豊かな自然、歴史・文化などの多彩な観光資源や高質な食文化など、誘客につながる高いポテンシャルを有しており、新型コロナウイルス感染症の収束以降、台湾チャーター便の搭乗率が好調に推移するなどインバウンド需要は回復基調を見せていますが、延べ宿泊者数・外国人延べ宿泊者数ともに回復ペースが東北各県に及ばず、全国的に見ても低位に留まっている現状にあります。

【本県の観光関連指標(2024年実績)】

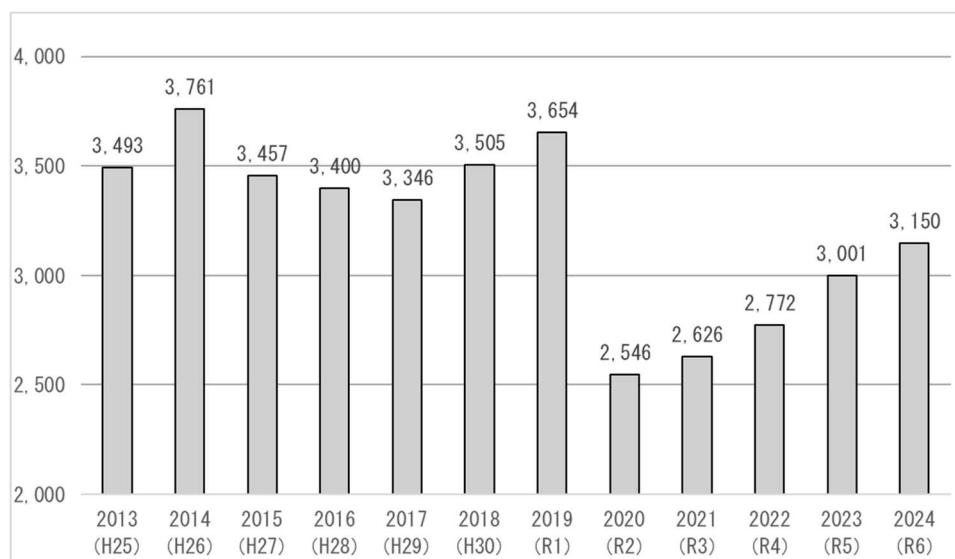
指標項目	実績値	全国順位／東北順位
旅行消費額(国内+インバウンド)	1,270億円	41位／6位
外国人延べ宿泊者数	119千人泊	44位／6位
延べ宿泊者数	3,150千人泊	42位／6位

① 延べ宿泊者数

本県の延べ宿泊者数は、コロナ禍前の 2019 年(令和元年)には約 365 万人泊でしたが、その後大きく減少しました。近年は回復傾向にあり、2024 年(令和 6 年)は約 315 万人泊(前年比 5.0%増)となったものの、コロナ禍前の水準には至っていません。東北各県との比較においても、順位は最下位に留まっています。

【秋田県延べ宿泊者数の推移】

(単位:千人泊)



出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

【東北各県の延べ宿泊者数の推移】

(単位:千人泊)

	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
青森県	4,624	5,059	4,606	3,315	3,599	4,078	4,394	4,513
岩手県	6,076	6,099	6,277	4,312	4,434	5,039	5,855	5,877
宮城県	9,981	10,405	10,934	6,571	6,435	8,383	10,072	10,266
秋田県	3,346	3,505	3,654	2,546	2,626	2,772	3,001	3,150
山形県	5,242	5,431	5,572	3,513	3,451	4,040	4,567	4,878
福島県	10,858	11,396	12,657	9,536	8,472	8,794	9,687	9,540

出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

※参考:観光庁「宿泊旅行統計調査」の二次速報において、2025 年(令和7年)は、大雨被害やクマの出没等の影響により、約 2,935 千人泊(前年比 6.8%減)となっています。

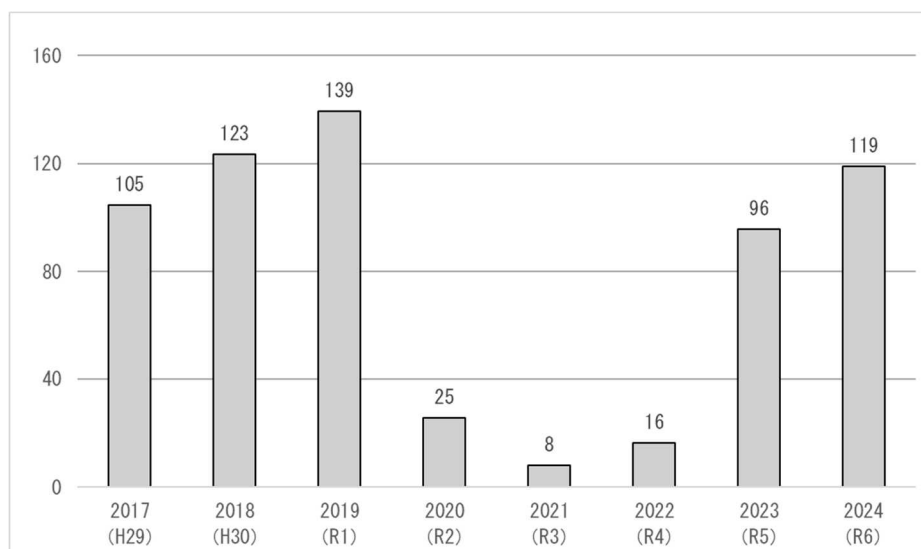
② 外国人延べ宿泊者数

本県の外国人延べ宿泊者数は、2019年(令和元年)に過去最高の約13万9千人泊となりました。その後、コロナ禍で大幅に減少しましたが、2023年(令和5年)から上昇に転じ、2024年(令和6年)は約11万9千人泊(前年比25.1%増)となりました。しかしながら、他の東北各県がコロナ禍前の水準を上回って回復している中で、本県は唯一戻りきっておらず、増加率も東北最下位に留まっています。

また、2024年(令和6年)の国別の内訳をみると、約4割(43.0%)を台湾が占めており、次いで中国、アメリカの順となっています。

【外国人延べ宿泊者数の推移】

(単位:千人泊)



出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」第2表 参考第3表

【東北各県の延べ宿泊者数の推移】

(単位:千人泊)

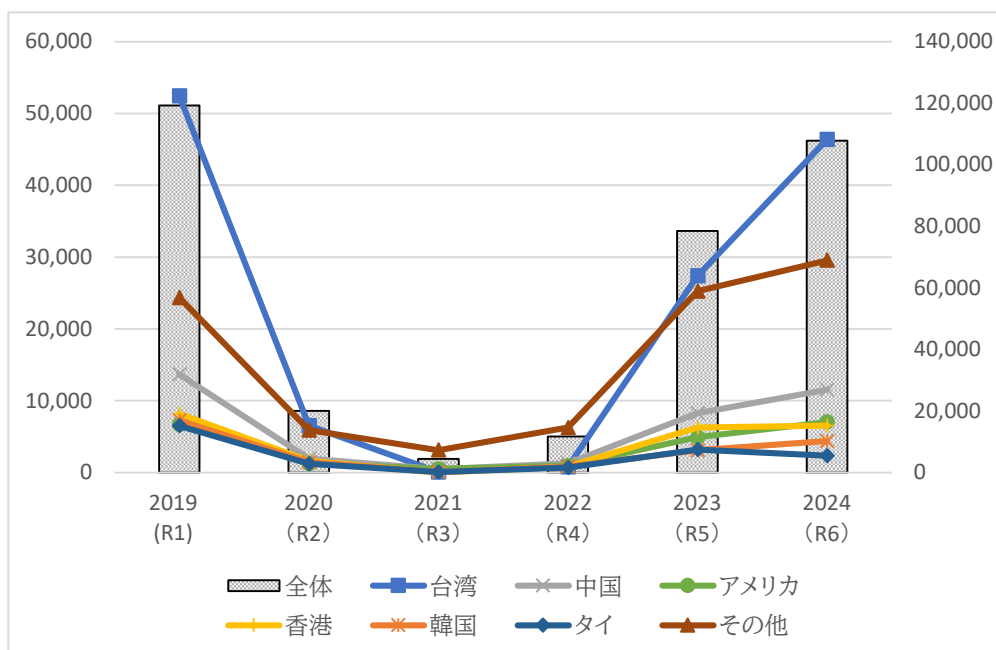
	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
青森県	260	349	357	78	17	33	265	413
岩手県	188	259	344	88	18	26	283	386
宮城県	264	402	563	131	49	66	526	777
秋田県	105	123	139	25	8	16	96	119
山形県	118	163	234	87	16	26	179	256
福島県	130	176	215	88	35	38	213	324

出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

※参考: 観光庁「宿泊旅行統計調査」の二次速報において、2025年(令和7年)は約145千人泊(前年比21.3%増)となっており、コロナ禍前のピークである2019年(令和元年)を上回っています。

【外国人延べ宿泊者数の内訳(国籍別)】

(従業員10人以上施設、単位:人)



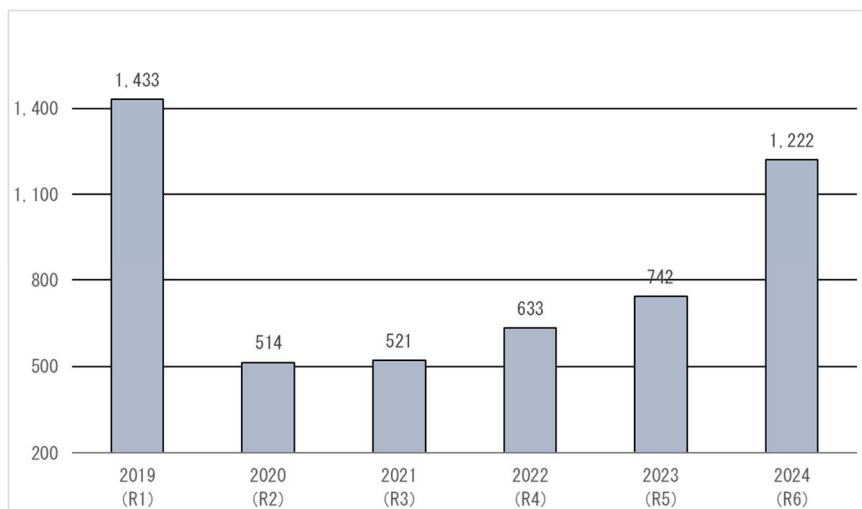
出典) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

③ 旅行消費額

2024年(令和6年)の旅行消費額(国内+インバウンド)は約1,270億円となりました。うち国内の旅行消費額は1,222億円と前年から大幅に増加したものの、東北最下位となっています。

【旅行消費額(日本人)の推移】

(単位:億円)

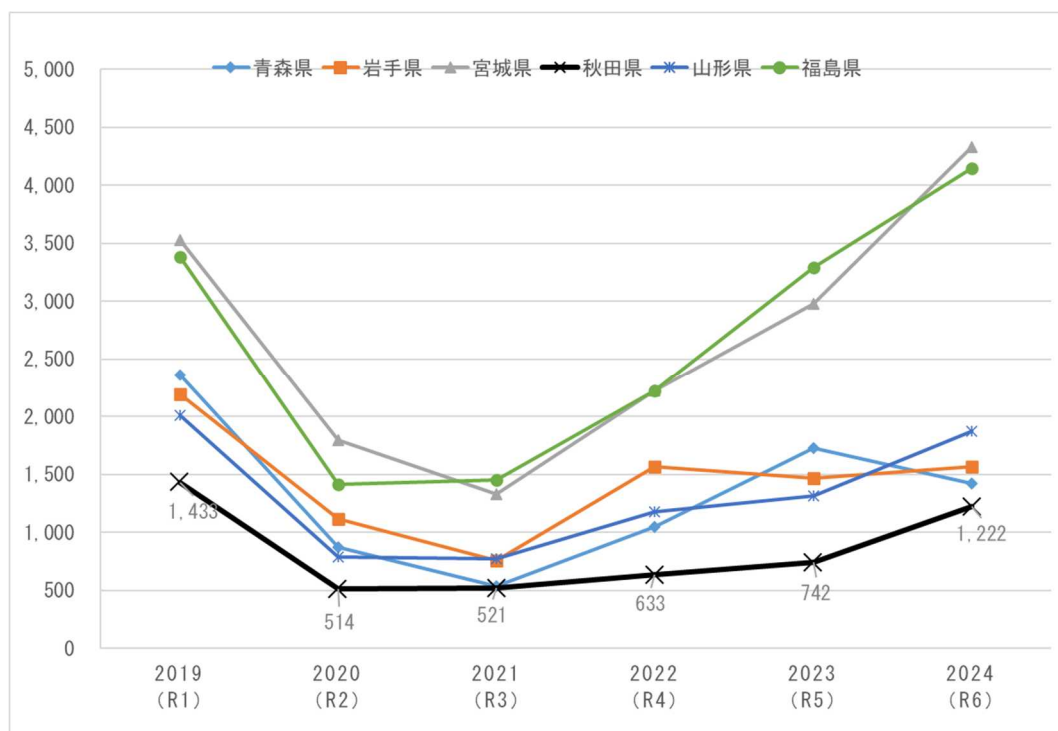


出典) 観光庁「旅行・観光消費動向調査(都道府県別)」

【東北各県の旅行消費額(日本人)の推移】

(単位:億円)

	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
青森県	2,363	873	539	1,050	1,726	1,420
岩手県	2,193	1,115	756	1,569	1,470	1,567
宮城県	3,529	1,797	1,329	2,226	2,975	4,331
秋田県	1,433	514	521	633	742	1,222
山形県	2,008	791	773	1,175	1,314	1,875
福島県	3,385	1,412	1,456	2,222	3,295	4,145



出典) 観光庁「旅行・観光消費動向調査(都道府県別)」

2 取り組むべき当面の課題

① 観光産業の経営力強化に向けた生産性の向上

観光産業において「稼ぐ産業」への転換を図るため、宿泊施設の高付加価値化や多様な人材確保による生産性の向上が求められています。

② マーケティングによる効果的なプロモーションの展開とデジタル環境の構築

秋田への旅の動機付けを図るとともに、デジタル化による利便性を高め、個人旅行者(FIT)から旅先として選ばれるようにするため、データ分析に基づく市場特性に応じた戦略的な情報発信や、オンラインで情報取得から予約まで完了できるデジタル環境の構築が求められています。

③ 秋田の特色を生かしたツーリズムの推進に向けたコンテンツ造成

通年で楽しめる観光の実現と旅行者の満足度向上を図るために、本県が誇る豊かな自然や歴史・文化などの多彩な観光資源や、高質な食文化が持つ高いポテンシャルを引き出し、「稼ぐ観光コンテンツ」へ磨き上げることが求められています。

④ 多様な旅行ニーズに対応した受入態勢の整備と充実

あらゆる旅行者が県内を快適に周遊・滞在できるよう、二次アクセスに関する情報発信の不足を解消するとともに、新しい旅行スタイルなど多様なニーズに寄り添う受入環境の整備が求められています。

⑤ 戦略的なインバウンド誘客の推進と需要の確実な獲得

全国的に訪日外国人旅行者数が増加傾向にあり、他の東北各県がコロナ禍前の水準を上回って回復している中、本県においては回復の遅れが見られ、インバウンド需要を確実に取り込むために戦略的な誘客の推進が求められています。

第3 アクションプランに掲げる取組

前章で挙げた当面の課題に的確に対応するため、本アクションプランでは以下の取組を展開します。

1 施策が目指す姿

～「心が動くあきたの観光」を実現する～

ターゲットに届く効果的なプロモーションにより、旅行者の心を動かし来訪を促すとともに、秋田ならではの体験コンテンツや快適な受入環境の整備を通じて、訪れた人々に深い感動を与え、四季折々の魅力が心に届く、あきたの観光を目指します。

2 代表的な指標

観光産業が地域経済にもたらす実質的な経済効果を最大化するとともに、成長するインバウンド需要を確実に取り込み、交流人口の拡大を図るため、以下の2指標を政策全体の代表的な指標として設定します。

指標項目	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	出典
旅行消費額 (国内+インバウンド)	1,270 億円	2,384 億円	観光庁「旅行・観光消費動向調査」「インバウンド消費動向調査」
外国人延べ宿泊者数	119 千人泊	331 千人泊	観光庁「宿泊旅行統計調査」

これらの指標を達成するため、本アクションプランでは総合計画に基づく5つの「施策の方向性」を柱として、具体的な事業を展開します。

次節より、各方向性における主な取組について詳述します。

3 施策の方向性

方向性1 観光産業の経営力の強化

主な取組① 宿泊施設の高付加価値化や経営効率化など生産性の向上に向けた取組を支援します。

主な取組② 冬季・グリーンシーズンの需要喚起により通年観光を推進します。

主な取組③ 観光産業を支える人材の確保・育成と新たな担い手の参画を促進します。

主な取組④ DMO※や観光協会を中心とした観光地域づくりを支援します。

方向性2 マーケティングによる効果的なプロモーションの展開

主な取組① ウェブサイトをリニューアルするほかSNS等を活用したターゲットに届く戦略的な発信を強化します。

主な取組② 観光情報がウェブ上に「存在し検索や予約ができる」デジタル環境を構築します。

方向性3 秋田の特色を生かしたツーリズムの推進

主な取組① 秋田の魅力の顕在化とアウトドアアクティビティや地域に根ざした特色ある観光コンテンツの磨き上げを図ります。

主な取組② 洋上風力発電や自然環境等を活用したサステナブルツーリズムを推進します。

主な取組③ 食や文化など多様な分野と観光との連携・融合により交流人口を拡大させます。

※DMO: Destination Management Organization(デスティネーション・マネジメント・オーガニゼーション)の略語。地域の「稼ぐ力」を引き出す司令塔として、データに基づく戦略策定や多様な関係者との合意形成を図り、観光地域全体のマネジメントを一体的に担う「観光地域づくり法人」を指す。観光庁が登録制度を設けており、活動の広さに応じ、広域連携 DMO、都道府県 DMO、地域 DMO の3区分がある。

方向性4 多様な旅行ニーズに対応した受入態勢の整備

主な取組① 新しい旅行スタイルに対応した環境の整備を促進します。

主な取組② あらゆる旅行者が楽しめるユニバーサルツーリズムを推進します。

主な取組③ 二次アクセス情報の充実と発信の強化により旅行者の利便性の向上を図ります。

主な取組④ クルーズ船の受入態勢を強化し誘客を促進します。

方向性5 戦略的なインバウンド誘客の推進

主な取組① 東アジアや東南アジアのリピーター層をターゲットとした戦略的な情報発信を強化します。

主な取組② 冬季アウトドアや文化・芸術等のテーマ別観光に着目した誘客活動を展開します。

主な取組③ 市場にマッチしたOTA※によるコンテンツの認知度の向上と誘客の拡大を図ります。

主な取組④ 国際チャーター便の更なる活用により誘客を促進します。

※OTA:Online Travel Agent(オンライン・トラベル・エージェント)の略語。実店舗を持たず、インターネット上で取引を行う旅行会社の総称。

方向性1

観光産業の経営力の強化

宿泊施設の高付加価値化や生産性向上を促進し、従業員の賃金向上につなげる「稼ぐ産業」への転換を図ることで、観光産業の経営力強化を実現します。また、季節による繁閑差の解消に加え、多様な人材の確保や、データ分析手法の習得支援等による観光事業者の育成を推進し、地域全体で稼ぐ力を高める基盤を構築します。

主な取組 1

宿泊施設の高付加価値化や経営効率化など生産性の向上に向けた取組を支援します。

多様化する旅行ニーズに対応するための施設・設備の質的向上や、デジタル技術を活用した業務プロセスの最適化を促進し、収益力の強化と働きやすい労働環境の実現を図ります。

取組内容

- ◆ 客室単価向上に資する宿泊施設の整備等に対する支援
- ◆ ウェブ情報の最適化等による集客力強化への支援

主な取組 2

冬季・グリーンシーズンの需要喚起により通年観光を推進します。

本県観光の課題である季節による繁閑差の解消に向け、各シーズンの特性を生かした魅力創出や受入環境の充実を図り、年間を通じて安定的に集客できる観光地づくりを推進します。

取組内容

- ◆ 冬季宿泊客の増加に向けた宿泊施設の整備等に対する支援
- ◆ 冬季・グリーンシーズン等におけるコンテンツの造成
- ◆ 宿泊・交通事業者等と連携した閑散期の需要喚起策の展開

主な取組3 観光産業を支える人材の確保・育成と新たな担い手の参画を促進します。

人手不足に対応するため、住環境など従業員のニーズに配慮した受入態勢の整備とともに、多様なアプローチによる採用活動や定着率向上に向けた取組を支援します。

取組内容

- ◆ 宿泊事業者が行う人材確保に資する施設整備への支援
- ◆ 宿泊事業者における短期の働き手確保に向けたマッチングサービスの活用促進に係る支援
- ◆ 宿泊事業者の人材確保に係る課題解決に向けた職場づくりへの支援

主な取組4 DMOや観光協会を中心とした観光地域づくりを支援します。

地域の観光振興を牽引するDMOや観光協会等が、データに基づいた観光地経営を実践できるよう、組織としての機能強化や地域内での連携体制の構築を支援します。

取組内容

- ◆ DMO主導の地域分析によるエリアマーケティングの推進
- ◆ 多様な業種(宿泊・飲食・販売等)が連携した Google マップ等のデジタル情報の活用による稼ぐ観光地域づくり

方向性に対応する指標

指標項目	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	出典
旅行消費単価 (日本人)	2.72万円	4.37万円	観光庁「旅行・観光消費 動向調査」

マーケティングによる効果的なプロモーションの展開

ウェブサイトのリニューアルやSNS等を活用し、ターゲット層の来訪意欲を強く喚起する戦略的なプロモーションを展開します。また、観光情報がウェブ上に「存在し検索や予約ができる」デジタル環境を構築することで、旅行前の関心を旅行中の消費へと確実につなげ、機会損失の解消と満足度の向上を図ります。

主な取組1

ウェブサイトをリニューアルするほかSNS等を活用したターゲットに届く戦略的な発信を強化します。

データ分析に基づきターゲット市場を明確化した上で、食、温泉、自然、文化といった本県の強みとなるテーマを、ウェブメディアやSNSを通じて戦略的に発信し、認知度の向上と来訪意欲の喚起を図ります。

取組内容

- ◆ データ分析によるターゲットの明確化と戦略的なデジタル広告の展開
- ◆ 本県の強み(食、温泉、自然、文化、アニメ、マンガ等)を活かしたターゲット層の嗜好に合わせた情報発信
- ◆ インフルエンサー等を活用した SNS での認知拡大と来訪意欲の喚起
- ◆ 観光情報の発信や検索の土台となるウェブサイト最適化の推進

主な取組2

観光情報がウェブ上に「存在し検索や予約ができる」デジタル環境を構築します。

旅行者がスムーズに情報を入手し、旅の計画から予約までウェブ上で完結できるよう、Google マップやOTAへの情報登録を促進するとともに、公式ウェブサイトのSEO対策等を強化し、検索されやすく予約しやすい環境を整備します。

取組内容

- ◆ Google マップの活用セミナー開催等による観光情報の登録促進
- ◆ OTA掲載情報の充実や体験型コンテンツのオンライン予約化支援

方向性に対応する指標

指標項目	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	出典
観光情報の満足度	77.3%	90.0%	「観光情報の内容と量」について「満足」「やや満足」と回答した人の割合(秋田県観光統計)



秋田の特色を生かしたツーリズムの推進

世界遺産や温泉、食文化など、秋田が誇る地域資源を、サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズム等の高付加価値なコンテンツとして磨き上げます。多様な分野と連携し、ここでしかない体験を提供することで、旅行者の感動を呼び起こし、消費拡大とファン獲得につなげます。

主な取組 1

秋田の魅力の顕在化とアウトドアアクティビティや地域に根ざした特色ある観光コンテンツの磨き上げを図ります。

秋田の豊かな自然を活用したアウトドアアクティビティや、酒蔵・ローカル鉄道などの地域資源、マタギ文化などの独自性の高い素材を、旅行者の感性に響く「体験」として造成・発信します。

取組内容

- ◆ サイクリングやトレッキングといった秋田の自然を活用したアウトドア観光の推進
- ◆ 酒蔵やローカル鉄道など個人の多様な趣味嗜好に対応した観光資源の利活用の推進
- ◆ マタギ体験等のここでしかない体験を提供するプレミアムコンテンツの造成
- ◆ 白神山地等における自然体験型イベントの開催を契機とした周辺アクティビティの情報発信

主な取組 2

洋上風力発電や自然環境等を活用したサステナブルツーリズムを推進します。

脱炭素社会への関心の高まりを捉え、洋上風力発電施設の見学や、世界自然遺産「白神山地」の保全と活用を両立させたプログラムなど、持続可能な観光(サステナブルツーリズム)を推進します。

取組内容

- ◆ 洋上風力等を活用したサステナブルツーリズムの推進
- ◆ 白神山地の魅力を県内外の来訪者に伝える人材の育成

主な取組3

食や文化など多様な分野と観光との連携・融合により交流人口を拡大させます。

地域に根ざした豊かな「食」や、伝統芸能・行事などの「文化」と観光を融合させ、その土地ならではのストーリー性のある体験を提供することで、交流人口の拡大と地域への愛着の醸成を図ります。

取組内容

- ◆ 地域に根ざした豊かな食文化を活かした誘客の推進
- ◆ 伝統芸能・行事等をはじめとする文化資源の活用による誘客の推進

方向性に対応する指標

指標項目	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	出典
観光地点等入込客数	30,807 千人	45,000 千人	秋田県観光統計

方向性 4

多様な旅行ニーズに対応した受入態勢の整備

個人旅行(FIT)の増加やデジタル化の進展など、変化する旅行スタイルに対応した環境整備を進めます。また、二次アクセス情報の充実やユニバーサルツーリズムの推進により、高齢者や障害者を含むすべての旅行者が、ストレスなく快適に周遊・滞在できる「選ばれる観光地」を目指します。

主な取組1 新しい旅行スタイルに対応した環境の整備を促進します。

旅行者がそれぞれのライフスタイルに合わせて快適に滞在できるよう、柔軟な旅のスタイルを受け入れる施設・環境づくりを支援します。

取組内容

- ◆ ワークेशनやペット同伴旅行等に対応するための受入態勢整備への支援
- ◆ 民泊を始めとするシェアリングサービスの普及に向けた情報提供や啓発活動の推進

主な取組2 あらゆる旅行者が楽しめるユニバーサルツーリズムを推進します。

高齢者や障害のある方など、誰もが気兼ねなく旅行を楽しめるよう、宿泊・観光施設のバリアフリー化を促進するとともに、視覚・聴覚障害者に配慮した情報提供の充実を図ります。

取組内容

- ◆ バリアフリー化の推進や、視覚・聴覚障害者への情報提供の充実

主な取組3 二次アクセス情報の充実と発信の強化により旅行者の利便性の向上を図ります。

ウェブサイトやデジタルツールを活用し、正確で分かりやすいアクセス情報をFIT(個人旅行者)に向けて発信することで、県内周遊の利便性を高めます。

取組内容

- ◆ FITをターゲットとした二次アクセス情報等の発信の強化

主な取組4 クルーズ船の受入態勢を強化し誘客を促進します。

クルーズ船の寄港を地域活性化につなげるため、広域連携によるポートセールスを展開するとともに、寄港時の受入環境の充実や魅力的なコンテンツの提供により、満足度の向上と再来訪を促進します。

取組内容

- ◆ クルーズ船誘致を展開する広域組織や他自治体との連携によるポートセールスの実施

方向性に対応する指標

指標項目	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	出典
延べ宿泊者数	3,150 千人泊	3,673 千人泊	観光庁「宿泊旅行統計調査」
クルーズ船の寄港数	33回 (R7年度実績)	47回	県調べ

参考指標

指標項目	基準値 (R7年度)	目標値 (R11年度)	出典
クルーズ船利用者の 県内消費単価(仮)	※	※	県調べ

※国土交通省「クルーズ船寄港に伴う経済効果推計を目的としたアンケート及びヒアリング調査」の調査結果公表後に追記

方向性5

戦略的なインバウンド誘客の推進

インバウンド需要を確実に取り込むため、台湾路線の定期便化やクルーズ船寄港数の拡大を目指すとともに、東アジア・東南アジア市場のFIT層の取り込みや、豪州での冬季アウトドアおよびフランス等における文化・芸術を通じた誘客など、ターゲットの特性に応じた戦略的なプロモーションとコンテンツ造成を展開します。

主な取組1

東アジアや東南アジアのリピーター層をターゲットとした戦略的な情報発信を強化します。

訪日リピーターが多い東アジアや旅行需要の拡大が続く東南アジア市場に対し、データ分析に基づくターゲット設定を行い、ウェブメディアやSNS、インフルエンサーを活用した効果的なプロモーションを展開します。

取組内容

- ◆ データによる市場分析に基づくターゲットの設定を通じた戦略的情報発信の展開
- ◆ 公式ウェブサイトやSNSコンテンツの充実等を通じた旅行者との直接的なコミュニケーションの強化による秋田ファンの拡大
- ◆ 海外メディアや媒体に取り上げられる戦略的なプロモーションの展開

主な取組2

冬季アウトドアや文化・芸術等のテーマ別観光に着目した誘客活動を展開します。

豪州・欧州市場等を念頭に、スノーリゾートや芸術、伝統文化など、特定のテーマに関心の高い層をターゲットとして、現地でのプロモーション活動や戦略的な情報発信を行い、新たな誘客へとつなげます。

取組内容

- ◆ 冬季アウトドアやアート等のテーマ性に訴求した誘客促進

主な取組3

市場にマッチしたOTAによるコンテンツの認知度の向上と誘客の拡大を図ります。

個人旅行(FIT)の主要な予約手段であるグローバルOTAとの連携を強化し、県内コンテンツの掲載促進や特集ページの展開により、認知度向上と販売実績の拡大を図ります。

取組内容

- ◆ グローバルOTAとの連携強化と体験プログラムの充実・発信

主な取組4

国際チャーター便の更なる活用により誘客を促進します。

プロモーションと連動した利用促進を図り、台湾チャーター便の継続的な運航を確保します。また、県内での滞在時間延長や宿泊数増加に向けた商品造成を支援します。

取組内容

- ◆ 台湾チャーター便継続と県内宿泊増加に向けたプロモーションの展開と観光コンテンツの磨き上げ

方向性に対応する指標

指標項目	基準値 (R6年度)	目標値 (R11年度)	出典
旅行消費単価 (インバウンド)	4.23万円	6.81万円	観光庁「インバウンド 消費動向調査」

4 進行管理

本アクションプランの実効性を高め、施策の目指す姿を実現するため、毎年度、施策の進捗状況や成果指標の達成状況を検証し、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)を徹底します。

検証に当たっては、「秋田県総合計画」の進行管理と連動しつつ、外部有識者等で構成する「総合政策審議会 観光・交流部会」において意見聴取を行い、社会情勢の急激な変化や新たな課題へ柔軟に対応します。

なお、数値目標については、総合計画における観光分野の指標を活用し、定量的な進行管理を行います。

① 旅行消費額(国内+インバウンド)

単位:億円

	2024(R6)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	—	1,634	1,853	2,102	2,384
実績値	1,270	—	—	—	—

出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」「インバウンド消費動向調査」

② 外国人延べ宿泊者数

単位:千人泊

	2024(R6)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	—	188	226	273	331
実績値	119	—	—	—	—

出典)観光庁「宿泊旅行統計調査」

③ 旅行消費単価(日本人)

単位:万円

	2024(R6)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	—	3.29	3.61	3.98	4.37
実績値	2.72	—	—	—	—

出典)観光庁「旅行・観光消費動向調査」

④ 観光情報の満足度(秋田県観光統計「観光情報の内容と量」について「満足」「やや満足」と回答した人の割合)

単位:%

	2024(R6)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	—	80.0	83.0	86.0	90.0
実績値	77.3	—	—	—	—

出典)秋田県「観光統計」

⑤ 観光地点等入込客数

単位:千人

	2024(R6)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	-	35,841	38,658	41,706	45,000
実績値	30,807	-	-	-	-

出典)秋田県「観光統計」

⑥ 延べ宿泊者数

単位:千人泊

	2024(R6)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	-	3,330	3,436	3,550	3,673
実績値	3,150	-	-	-	-

出典)観光庁「宿泊旅行統計調査」

⑦ クルーズ船の寄港数

単位:回

	2025(R7)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	-	31	39	45	47
実績値	33	-	-	-	-

出典)県調べ

⑧ 旅行消費単価(インバウンド)

単位:万円

	2024(R6)	計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	-	5.12	5.63	6.19	6.81
実績値	4.23	-	-	-	-

出典)観光庁「インバウンド消費動向調査」

参考指標 クルーズ船利用者の県内消費額(仮)

		計画期間			
		2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)
目標値	-				
実績値		-	-	-	-

※国土交通省「クルーズ船寄港に伴う経済効果推計を目的としたアンケート及びヒアリング調査」の調査結果公表後に追記

5 施策の体系図と事業概要

本アクションプランの推進にあたっては、庁内関係部局が緊密に連携し、観光産業の振興のみならず、食、スポーツ、文化芸術、交通など、関連する分野の施策を総動員して取り組みます。

次頁に示す「施策・事業体系図」は、「5つの方向性」と、それを実現するための「主な取組」、および具体的な実行手段となる「個別事業」の関連性を体系化したものです。



令和8年度 観光部門施策・事業体系図

事業名の右の表示は所管課および個別事業説明資料のページ数を表す。

戦略：観光戦略課
 イン：観光戦略課インバウンド・クルーズ誘客推進室
 原産：県産品振興課
 交通：交通政策課
文化：文化振興課
 スポ：スポーツ振興課

【方向性1】

観光産業の経営力の強化

主な取組①

宿泊施設の高付加価値化や経営効率化など生産性の向上に向けた取組を支援します。

宿泊事業者経営力強化支援事業 ----- P. 1 戦略

主な取組②

冬季・グリーンシーズンの需要喚起により通年観光を推進します。

通年誘客促進事業 ----- P. 8-10 戦略

- ・通年誘客プロモーション事業 ----- P. 8
- ・秋田県宿泊応援事業 ----- P. 9
- ・食を活用した誘客促進事業 ----- P. 8
- ・通年誘客に向けた観光バス利用促進事業 ----- P. 10

宿泊事業者経営力強化支援事業 ----- P. 1 戦略

主な取組③

観光産業を支える人材の確保・育成と新たな担い手の参画を促進します。

観光人材確保支援事業 ----- P. 2 戦略

- ・多様な人材確保推進事業 ----- ↑
- ・多様な人材採用手法導入支援事業 ----- ↑

宿泊事業者経営力強化支援事業 ----- P. 1 戦略

(参考) 新県立体育館を核とした賑わい波及事業 -- P. 36 スポ

主な取組④

DMO や観光協会を中心とした観光地域づくりを支援します。

データに基づく観光戦略推進事業 ----- P. 3 戦略

・秋田県観光DMP活用事業 ----- ↑

観光客受入態勢強化事業 ----- P. 4-5 戦略

- ・デジタル化観光情報発信力強化事業 ----- P. 4
- ・多様な旅行ニーズへの対応力強化事業 ----- P. 5

観光連携団体共同事業 ----- P. 11 戦略

観光連盟強化支援事業 ----- P. 12 戦略

秋田の観光創生推進会議事業 ----- P. 13 戦略

【方向性2】

マーケティングによる効果的なプロモーションの展開

主な取組①

ウェブサイトリニューアルするほかSNS等を活用したターゲットに届く戦略的な発信を強化します。

デジタルデータを活用した誘客促進事業 ----- P. 14 戦略

- ・アキタファンを活用したデジタルプロモーション事業 --- ↑
- ・アキタファン改修事業 ----- ↑

秋田の魅力発見・発信事業 ----- P. 15-17 戦略

- ・パブリックリレーションズ推進事業 ----- P. 17
- ・魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大 -- P. 15

秋田ならではのツーリズム推進事業 ----- P. 18 戦略

・新たな旅を提案するPR事業 ----- ↑

主な取組②

観光情報がウェブ上に「存在し検索や予約ができる」デジタル環境を構築します。

デジタルデータを活用した誘客促進事業 ----- P. 14 戦略

- ・アキタファン改修事業 ----- ↑

観光客受入態勢強化事業 ----- P. 4 戦略

・デジタル化観光情報発信力強化事業 ----- ↑

市場横断型インバウンド誘客加速化事業 ----- P. 24 イン

・外国語版観光情報サイト運営事業 ----- ↑

【方向性3】

秋田の特色を生かしたツーリズムの推進

主な取組①

秋田の魅力の顕在化とアウトドアアクティビティや地域に根ざした特色ある観光コンテンツの磨き上げを図ります。

アウトドアツーリズム推進事業	----- P. 20	戦略
・アウトドアアクティビティを活用した誘客促進事業	----- ↑	
・世界遺産を活用した誘客促進事業	----- ↑	
秋田の魅力発見・発信事業	----- P. 15-16	戦略
・アニメ・マンガを活用した誘客促進事業	----- P. 16	
・魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大	-- P. 15	
秋田ならではのツーリズム推進事業	----- P. 18-19	戦略
・教育旅行誘致事業	----- P. 19	
・秋田犬ふれあい情報センター事業	----- P. 18	
・新たな旅を提案するPR事業	----- P. 18	
秋田の観光創生推進会議事業	----- P. 13	戦略
(参考) 第三セクター鉄道利用促進事業	----- P. 31	交通
(参考) JRローカル線活性化促進事業	----- P. 32	交通

主な取組②

洋上風力発電や自然環境等を活用したサステナブルツーリズムを推進します。

秋田ならではのツーリズム推進事業	----- P. 19	戦略
・教育旅行誘致事業	----- ↑	
アウトドアツーリズム推進事業	----- P. 20	戦略
・世界遺産を活用した誘客促進事業	----- ↑	
白神山地保全推進事業	----- P. 21	戦略
観光客受入態勢強化事業	----- P. 5	戦略
・多様な旅行ニーズへの対応力強化事業	----- ↑	

主な取組③

食や文化など多様な分野と観光との連携・融合により交流人口を拡大させます。

通年誘客促進事業	----- P. 8	戦略
・通年誘客プロモーション事業	----- ↑	
・食を活用した誘客促進事業	----- ↑	
福岡アンテナショップ移転事業	----- P. 6	戦略
(参考) アンテナショップ運営事業	----- P. 30	食
(参考) 文化芸術がつなぐ交流拡大事業	----- P. 34	文化
(参考) 劇団公演を活用した交流人口拡大促進事業	----- P. 35	文化
(参考) スポーツツーリズム推進による交流拡大事業	----- P. 37	スポ
(参考) 新県立体育館整備・運営事業	----- P. 38	スポ

【方向性4】

多様な旅行ニーズに対応した受入態勢の整備

主な取組①

新しい旅行スタイルに対応した環境の整備を促進します。

観光施設魅力向上事業	----- P. 7	戦略
・観光施設等緊急改修事業	----- ↑	
秋田ならではのツーリズム推進事業	----- P. 18	戦略
・秋田犬ふれあい情報センター事業	----- ↑	
宿泊事業者経営力強化支援事業	----- P. 1	戦略

主な取組②

あらゆる旅行者が楽しめるユニバーサルツーリズムを推進します。

観光連盟強化支援事業	----- P. 12	戦略
------------	-------------	----

主な取組③

二次アクセス情報の充実と発信の強化により旅行者の利便性の向上を図ります。

デジタルデータを活用した誘客促進事業	----- P. 14	戦略
・アキタファン改修事業	----- ↑	
市場横断型インバウンド誘客加速化事業	----- P. 24	イン
・外国語版観光情報サイト運営事業	----- ↑	
秋田ならではのツーリズム推進事業	----- P. 18	戦略
・新たな旅を提案するPR事業	----- ↑	

主な取組④

クルーズ船の受入態勢を強化し誘客を促進します。

秋田三港クルーズ活性化事業	----- P. 29	イン
---------------	-------------	----

【方向性5】

戦略的なインバウンド誘客の推進

主な取組①

東アジアや東南アジアのリピーター層をターゲットとした戦略的な情報発信を強化します。

- インバウンド誘客拡大事業 ----- P. 25 イン
 - ・アジア市場誘客促進事業 ----- ↑
 - ・東北・新潟広域連携事業 ----- ↑
- 市場横断型インバウンド誘客加速化事業 ----- P. 22 イン
 - ・インバウンドデジタルプロモーション事業 --- ↑

主な取組②

冬季アウトドアや文化・芸術等のテーマ別観光に着目した誘客活動を展開します。

- インバウンド誘客拡大事業 ----- P. 26 イン
 - ・テーマ別誘客プロモーション推進事業 ----- ↑
- 秋田の魅力発見・発信事業 ----- P. 16 戦略
 - ・アニメ・マンガを活用した誘客促進事業 ----- ↑
- (参考) 大館能代空港三往復運航定着支援事業 ----- P. 33 交通
 - ・大館能代空港インバウンド促進事業 ----- ↑

主な取組③

市場にマッチしたOTA によるコンテンツの認知度向上と誘客の拡大を図ります。

- 市場横断型インバウンド誘客加速化事業 ----- P. 23-24 イン
 - ・外国語版観光情報サイト運営事業 ----- P. 24
 - ・体験コンテンツ等掲載促進事業 ----- P. 23

主な取組④

国際チャーター便の更なる活用により誘客を促進します。

- 台湾便交流促進事業 ----- P. 28 イン
 - ・受入環境整備事業 ----- ↑
 - ・台湾便県民利用促進事業 ----- ↑
- インバウンド誘客拡大事業 ----- P. 27 イン
 - ・台湾誘客促進強化事業 ----- ↑

1 宿泊事業者経営力強化支援事業

事業目的・背景・課題

インバウンド・高付加価値層への対応強化と冬季誘客促進及び従業員の待遇改善を一体的に支援するとともに、ウェブサイトの最適化及び利用者が安心できる滞在環境の確保に資する整備に対し支援を行うことにより、宿泊単価の向上と誘客促進及び従業員の安定確保を図る。

事業内容

宿泊事業者経営力強化支援事業

224,152千円

・高付加価値化枠

- ・ 冬季誘客の促進、サービスの高付加価値化に資する施設整備やインバウンド誘客の拡大を目的とした施設整備等に対し支援
例：露天風呂付き客室の改修、インバウンド向け改修、デザイナー等専門家による空間設計・改修

・人材確保枠

- ・ 人材確保に資する整備に対し支援（従業員寮の改修等）

・新規開業枠

- ・ 新設する客室へ備え付ける備品購入に対し支援

・環境改善枠

- ・ 利用者が安心できる滞在環境の確保に資する整備等に対し支援
例：検知設備等の導入（監視カメラ、夜間照明等）
防犯対策（フェンス、玄関ドアの改修等）
ウェブサイトの多言語化等にかかる改修経費

事業スキーム

- ・ 事業形態：補助 ・ 補助率：1 / 2 以内
- ・ 補助対象：県内宿泊事業者
- ・ 補助要件：数値目標の設定、秋田県観光DMPへの参加、Googleビジネスプロフィールへの登録 等

事業イメージ



露天風呂付き客室の改修



温泉の導入

お問い合わせ先：観光戦略課 観光施設マネジメントチーム (018-860-1463)

2 観光人材確保支援事業

事業目的・背景・課題

県内宿泊事業者を対象に、人材マッチングサービスの活用促進や外国人材受入の先行事例を学ぶ機会の提供など、多様な人材の確保を促進することで、人手不足の解消を支援する。

事業内容

1 多様な人材採用手法導入支援事業 1,950千円

地域外からの働き手や隙間時間を活用した短時間勤務の働き手を確保することにより、宿泊施設の人手不足の緩和を図る。

① トラベルワーキング活用支援

- ・補助対象：宿泊事業者（主に観光地の温泉宿泊施設等を想定）
- ・対象経費：交通費（宿泊事業者負担分）、マッチングサービスの利用に要した経費等
- ・補助額等：1人当たり最大5万円（1事業者当たり最大15万円）

② スポットワーク活用支援

- ・補助対象：宿泊事業者（主に都市部のビジネスホテル等を想定）
- ・対象経費：マッチングサービスの利用に要した経費
- ・補助額等：1事業者当たり最大3万円

2 多様な人材確保推進事業 110千円

外国人材の受入に関して、事業者の先行事例を共有するセミナーを開催し、受入に向けた不安の解消を図る。

- ・開催時期：令和8年6月頃
- ・場 所：秋田市（予定）
- ・講 師：秋田県外国人材受入サポートセンター（予定）

事業スキーム

事業形態：1 補助、2 直営（旅費、報償費等）

事業イメージ



多様な人材の活躍



事業者向けセミナーの開催

お問い合わせ先：観光戦略課 企画・データ分析チーム（018-860-1462）

3 データに基づく観光戦略推進事業

事業目的・背景・課題

DMO等を中心とした観光エリアマネジメントの推進のため、秋田県観光DMPを運用し、県内DMOや宿泊事業者を対象としたデータに基づく分析力の向上を図る。

事業内容

秋田県観光DMP活用事業

17, 176千円

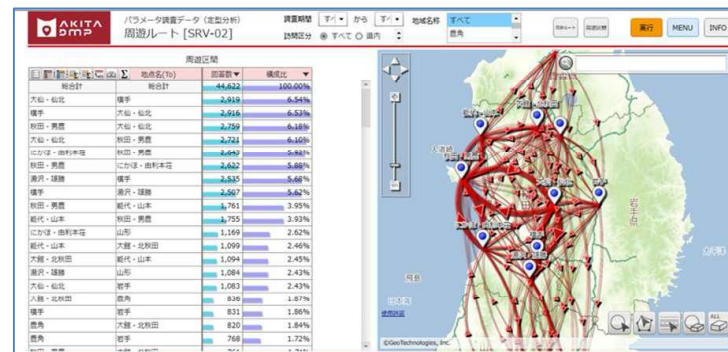
①秋田県観光DMPの保守

- 秋田県観光DMPの保守管理を行う。
- 事業内容：各種システムの管理運営

②DMPの活用にかかる研修会等の開催

- 秋田県観光DMP研修会（年2回）
 - 開催時期：令和8年5月頃
 - 対象：DMO等
- 宿泊事業者向け宿泊データ分析システム説明会（年3回）
 - 開催時期：令和8年8月頃
 - 対象：宿泊事業者
- 東北観光DMP研修会（年2回）
 - 開催時期：令和8年5月及び10月頃
 - 対象：DMO等

事業イメージ



秋田県観光DMPの操作画面

日別宿泊傾向（需要の波） - 2025秋季



秋田県観光DMPレポート（抜粋）

事業スキーム

事業形態：委託

お問い合わせ先：観光戦略課 企画・データ分析チーム（018-860-1462）

4 観光客受入態勢強化事業（デジタル観光情報発信力強化事業）

事業目的・背景・課題

観光客が多用するGoogleマップによる効果的な情報発信力を強化する。

事業内容

デジタル観光情報発信力強化事業

7,527千円

①モデル事業の実施

- ・ 誘客拡大の見込まれる2地域程度を対象に、飲食・宿泊・販売等観光関連事業者によるGoogleマップの利活用を伴走支援する。
 - ・ 事業内容：Googleビジネスプロフィール（※）登録サポート、Googleマップのサイト充実に向けた対策支援（写真投稿・クチコミ返信等）、インバウンド対応策のセミナー
- （※）Google検索やGoogleマップ上に、店舗の情報を無料で表示・管理できるGoogleの公式サービス

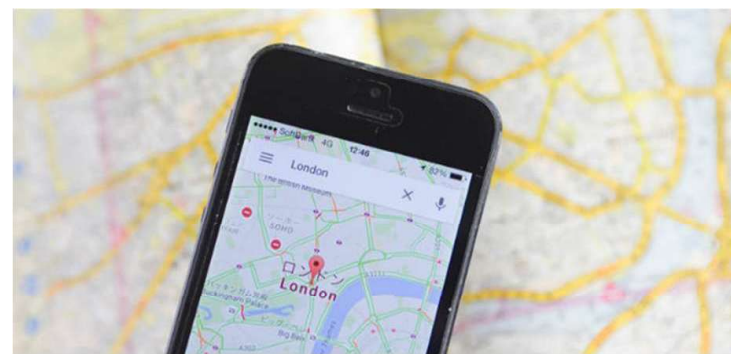
②成果報告会

- ・ モデル事業の実施の効果（Googleマップ閲覧数増・ルート検索数増等）をとりまとめ、成果報告会を開催。モデル事業で得られた気づきやノウハウ等について、未実施の観光関連事業者にも取り組みやすくなるようにまとめ、横展開を図る。

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



Googleマップイメージ



成果報告会イメージ

お問い合わせ先：観光戦略課 企画・データ分析チーム（018-860-1462）

5 観光客受入態勢強化事業（多様な旅行ニーズへの対応力強化事業）

事業目的・背景・課題

事業者連携による体験型コンテンツの造成等の促進により、観光客の受入態勢整備を図る。

事業内容

多様な旅行ニーズへの対応力強化事業

1, 106千円

- ・観光関連事業者の連携にかかる支援
DMO・地域事業者等、観光関連事業者の連携による体験型コンテンツの造成・販売を支援する。

事業スキーム

- ・事業形態：補助
- ・補助対象：観光関連団体（DMO、観光協会等）と民間事業者（宿泊・飲食・観光施設・小売店・交通事業者等）の2者以上による連携事業体
- ・対象経費：会場借上料や講師謝金・旅費、需用費、印刷費など体験型コンテンツの造成に要する経費
- ・補助率：10/10
- ・上限額：200千円
- ・補助件数：5件程度

事業イメージ



事業者連携ワークショップイメージ



コンテンツ造成・販売イメージ

お問い合わせ先：観光戦略課 観光施設マネジメントチーム（018-860-1463）

6 福岡アンテナショップ°移転事業

事業目的・背景・課題

北東北三県で設置している福岡アンテナショップ（みちのく夢プラザ）は、福岡市都心部の再開発により、令和9年3月末で現入居先からの退去が必要になることから、新たな店舗に移転し運営を継続することとし、令和9年4月のオープンに向け、改装工事等を行う。

事業内容

福岡アンテナショップ°移転事業

56,922千円

①新店舗への移転

小売業の集積など集客等の観点から、現店舗所在地と同じ福岡市天神地区周辺を候補地として移転先を確保する。

②オープンに向けた周知等

新店舗開店及び県産品の魅力の周知のため、R9.4のオープン前から移転場所等の周知を行う。（詳細未定）

事業スキーム

事業形態：負担金、直営（使用料等）



事業イメージ



現店舗の外観



店舗を活用した県産酒販売会

お問い合わせ先：観光戦略課 企画・データ分析チーム（018-860-1462）

7 観光施設魅力向上事業

事業目的・背景・課題

県有観光施設の魅力向上を図ることにより、利用者満足度の向上によるリピーター確保や交流人口の拡大、県内観光流動の促進を図る。

事業内容

観光施設等緊急改修事業

99,841千円

- ・ 県有観光施設において経年劣化により不具合が生じている設備等の改修を行うことにより、利用者の安全・安心・快適の確保を図るとともに、施設の長寿命化を図る。

- ・ 主な改修実施施設及び内容

サンルール大湯：スプリンクラー装置仕切弁等交換

防排煙設備更新

田沢湖スキー場：銀嶺クワッドリフト握索装置オーバーホール等
大型浄化槽スパローター交換

ほか3施設

事業スキーム

- ・ 事業形態：直営（工事請負費等）

事業イメージ



経年劣化が進んだ排気ダクトの更新作業



高圧ケーブルの更新作業

お問い合わせ先：観光戦略課 観光施設マネジメントチーム（018-860-1463）

8 通年誘客促進事業（通年誘客プロモーション事業／食を活用した誘客促進事業）

事業目的・背景・課題

本県の観光の課題である季節による繁閑差の解消に向け、豊かな自然を活かしたアウトドアアクティビティや独自の習俗・文化体験、食の魅力を発信することで、閑散期であるグリーンシーズン及び冬季の旅行需要を喚起し、年間を通じた誘客の平準化を図る。

事業内容

1 通年誘客プロモーション事業

8,987千円

豊かな自然を活用したアウトドアアクティビティや個性的な習俗・文化体験など本県が誇る魅力的な観光コンテンツの情報発信により通年誘客を図る。

・事業内容：観光素材収集、広告配信等によるプロモーション など

2 食を活用した誘客促進事業

4,741千円

県内の特色ある飲食店の情報発信により通年誘客を図る。

・事業内容：ウェブコンテンツ制作 など

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



その時期ならではの絶景



その時期ならではの魅力的な食

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

9 通年誘客推進事業（秋田県宿泊応援事業）

事業目的・背景・課題

物価高騰等により厳しい経営環境にある県内宿泊事業者を支援するため、宿泊クーポン発行による旅行需要を喚起するとともに、本事業を契機としたプロモーションを展開することで、本県の魅力発信と旅行先としての認知度拡大を図る。

事業内容・スキーム

秋田県宿泊応援事業

780,000千円

OTAを活用した宿泊割引クーポン、アドオン・クーポンの発行及びSNS等によるプロモーションを行う。

- ・事業形態：委託（割引原資を含む）
- ・実施期間：
 - 第1弾 令和8年5月15日チェックイン～7月31日チェックアウト
 - 第2弾 令和8年11月1日チェックイン～令和9年2月28日チェックアウト
- ・割引金額：

【1人あたりの宿泊料金】	【割引額】
6,000円以上	1,000円（3,000円）
10,000円以上	3,000円（5,000円）
15,000円以上	5,000円（7,000円）
30,000円以上	10,000円（12,000円）

※括弧内の金額は、体験、食・地酒、お土産がセットになった宿泊プランは通常よりも割引額を大きくする「アドオン・クーポン」適用時の割引額

事業イメージ



「宿泊」と「地酒」とのセット商品（イメージ）

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

10 通年誘客推進事業（通年誘客に向けた観光バス利用促進事業）

事業目的・背景・課題

労務費や車両維持費等の物価高騰により厳しい経営環境に置かれている県内貸切バス事業者を支援するため、閑散期におけるバスを利用した団体旅行の商品造成を促進することにより通年誘客を図る。

事業内容・事業スキーム

通年誘客に向けた観光バス利用促進事業 36,740千円

- ・事業形態：補助
- ・事業期間：第1弾 令和8年5月10日～7月31日
第2弾 令和8年11月1日～令和9年2月28日
- ・補助対象：旅行会社が造成する旅行商品の貸切バス料金
- ・補助率：1/2（1日1台あたり50,000円を上限）
- ・補助先：（公社）秋田県バス協会

事業イメージ



事業案内用リーフレット

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

11 観光連携団体共同事業

事業目的・背景・課題

旅行形態や観光ニーズの多様化、インバウンドの急速な拡大が進む中、国内外からの誘客を効率的かつ効果的に推進するため、東北及び新潟県における観光地間のネットワーク化や連携強化を図り、ターゲットを絞った誘客を推進する。

事業内容

北東北三県観光立県推進協議会負担金 4,615千円

〈北東北三県観光立県推進協議会について〉

地理的な位置だけではなく、自然・歴史・文化的にも多くの共通点を有する、青森県・岩手県・秋田県が交通事業者等と連携し広域周遊を促進し、誘客拡大を図る。

東北観光推進機構負担金 15,000千円

東北及び新潟県の広域連携事業を実施する（一社）東北観光推進機構と連携し、国内外からの誘客を図る。

事業スキーム

事業形態：負担金

事業イメージ



R7 JR東日本東北本部等と連携したスタンプラリーの実施



東北教育旅行誘致セミナー（東京会場）

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

12 観光連盟強化支援事業

事業目的

観光連盟の財政運営の安定化と組織強化を図り、県の観光振興施策と連携しながら誘客宣伝活動や受入態勢強化等の取組を支援し、本県への誘客を促進する。

事業内容

観光連盟強化支援事業

24,480千円

①魅力ある観光地づくりの推進

会員間の連携による観光地の魅力発信の取組への助成や秋田県観光DMP等の活用による会員等への情報提供 等

②受入態勢の向上・人材育成

巡回調査や従業員表彰による受入態勢の向上、高校との連携を通じた人材確保支援、デジタルプロモーション費用の助成を実施

③バリアフリー観光の推進

高齢者や障がい者等を対象としたバリアフリーのモニターツアー実施や、情報発信・相談窓口となるサポートセンターの運営

④国内誘客・消費拡大の推進

県内外での観光PRや旅行会社等へのセールス・商談会を通じた誘客促進に加え、バス助成等を活用した教育旅行の誘致

⑤外国人観光客の誘致促進

台湾をはじめとする東アジアからの訪日客誘致と受入体制の整備、クルーズターミナルでの特産品販売支援や観光案内の実施

⑥その他

会員との情報共有を図る各種会議の実施

事業スキーム

- ・事業形態：補助
- ・補助額：予算で定める額
- ・補助対象：（一社）秋田県観光連盟

事業イメージ



観光PRの実施



クルーズターミナルでの物販

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

13 秋田の観光創生推進会議事業

事業目的・背景・課題

秋田の観光創生推進会議を母体として市町村や関係事業者等と連携し、地域資源を活用した観光資源の掘り起こしや磨き上げを行うとともに、受入態勢の充実やプロモーションを展開し、国内外からの観光誘客を促進する。

事業内容

秋田の観光創生推進会議事業

25,000千円

①アキタノ魅力発信強化事業

県外PRイベント等の開催や各種宣伝物の作成・配付等により県内外へ情報発信するほか、会員と連携した商品造成や周遊事業を実施する。

②受入態勢整備事業

県内主要駅や空港でのお出迎えや観光PRで使用するノベルティの制作等を行い、通年で観光客を温かく迎える態勢を整える。

③地域主体による観光地域づくり推進事業

県内の地域資源を活用した観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げのほか、地域が主体となって実施する誘客や観光消費の増加に繋がる新たな取組を支援する。

④各種会議の開催等

- ・運営幹事会、理事会、総会の開催
- ・会員向けメールマガジンの配信

事業スキーム

- ・事業形態：負担金
- ・事業費：50,000千円
(県：25,000千円、市町村：12,500千円、民間等12,500千円)
- ・構成員：県、市町村、観光団体、観光事業者等

事業イメージ



観光PRパンフレット「Akita Fun!」の作成・配布



旅行会社招請ツアー

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム (018-860-2261)

14 デジタルデータを活用した誘客促進事業

事業目的・背景・課題

県公式観光サイト「アキタファン」を、閲覧したユーザーがより使いやすく、観光消費につながるサイトにするため、同サイトを改修するとともに、本県の誘客ターゲット層に向けたデジタルプロモーションにより、認知度を向上させ、旅行意欲を喚起する。

事業内容

1 アキタファン改修事業

6, 105千円

ユーザーが本県の観光情報を容易に取得し、体験予約がスムーズにできるよう、専門家の支援を受けながらサイト改修を行う。

- ・ 事業内容：AI・SEO対策、OTAサイトとの連携機能強化 など

2 アキタファンを活用したデジタルプロモーション事業

5, 028千円

アキタファンの閲覧者を増やし、本県の認知度を向上させるため、デジタルプロモーションの実施やその結果分析などにより、新たなターゲット層を探る。

- ・ 事業内容：記事制作、広告配信、調査分析 など

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



秋田県公式観光サイト「アキタファン」

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム (018-860-2261)

15 秋田の魅力発見・発信事業（魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大事業）

事業目的・背景・課題

本県ゆかりの著名人や様々な媒体の特性を生かして、秋田の魅力在全国に発信し認知度を高めるとともに、秋田ファンの一層の拡大を図り、本県への人の動きを創出する。

事業内容

魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大 23,105千円

①多様なメディアを活用した秋田ファンの創出

本県ゆかりのインフルエンサー等を活用した秋田ならではのコンテンツを発信する。

- ・事業内容 インフルエンサー等を活用したInstagramによる情報発信

②県ゆかりの人とのネットワークの活用

「あきた音楽大使」高橋優氏主催の「秋田CARAVAN MUSIC FES」を契機とし、開催地にかほ市周辺を紹介するガイドブックの制作や写真展の開催により、県内周遊を促進する。

- ・事業内容 高橋優氏を活用したキャラバンガイドの作成等

③ロケ支援体制の強化

本県が舞台となる映画やアニメ等の制作を支援し撮影地の認知度を高め、聖地巡礼による県内誘客を促進する。

- ・事業内容 制作会社向けのロケ地紹介パンフレットの制作

事業イメージ



秋田観光公式Instagramの運用



秋田キャラバンガイドの作成



制作会社向けのロケ地紹介パンフレットの制作



秋田が舞台となる映画やアニメ等の制作支援

事業スキーム

事業形態：委託

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

16 秋田の魅力発見・発信事業（アニメ・マンガを活用した誘客促進事業）

事業目的・背景・課題

埼玉県、熊本県との「クレヨンしんちゃん」家族都市プロジェクトによるプロモーションを展開するほか、本県が舞台の一部となる映画の公開に合わせて、鉄道会社と連携したスタンプラリーやラッピング列車の運行など、「クレヨンしんちゃん」を活用した誘客を促進する。

事業内容

アニメ・マンガを活用した誘客促進事業

8,561千円

① 鉄道会社等と連携したスタンプラリーの実施

- ・ 事業内容：首都圏と秋田県を結ぶスタンプラリーの実施

② 内陸線と連携したラッピング列車の運行

- ・ 事業内容：クレヨンしんちゃんデザインのラッピング列車

③ クレヨンしんちゃん家族都市協定を活用したプロモーション

- ・ 事業内容：R4より実施している野原一家の縁の地である埼玉県・熊本県との「家族都市プロジェクト」を実施。

事業イメージ



クレヨンしんちゃんデザインのラッピング列車



台湾での観光イベント参加の様子

事業スキーム

事業形態：委託

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

17 秋田の魅力発見・発信事業（パブリックリレーションズ推進事業）

事業目的・背景・課題

PR会社のネットワークを活用し、首都圏のテレビ・雑誌等のメディアへの戦略的なアプローチにより、本県の魅力ある観光コンテンツ等の露出を拡大させることで、認知度向上と来訪意欲の喚起を図る

事業内容

パブリックリレーションズ推進事業

18,000千円

①メディアへの情報発信

- ・全国メディアを対象とした、県の魅力や体験をPRする資料を制作し、ニュースレター及びプレスリリースとして配信する

②メディアへの売り込み

- ・都内においてメディア向け説明会及びメディアキャラバン（又はオンラインピッチ）を実施する

③メディア、インフルエンサーの招へい

- ・プレスツアーや個別のメディア招へい等を行い、取材を誘致する

④メディアとのタイアップ企画の実施

- ・県魅力を伝えるため、全国ネットでの情報番組においてタイアップ企画を実施する。

⑤クリッピング及び効果測定

- ・パブリシティ活動の効果測定するため、露出を獲得したテレビ・新聞・雑誌・Web等のクリッピング及びモニタリングを行う

事業イメージ



メディア向け説明会



プレスツアー

事業スキーム

事業形態：委託

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

18 秋田ならではのツーリズム推進事業（新たな旅を提案するPR事業 秋田犬ふれあい情報センター事業）

事業目的・背景・課題

秋田の多様な魅力を伝えるパンフレットの制作や秋田犬ふれあい情報センターの設置を通じ、秋田ならではのツーリズムを推進することにより、旅行意欲の喚起と誘客を促進する。

事業内容

1 新たな旅を提案するPR事業 4,275千円

県内外のイベント等での配付活用のため、総合パンフレット「ブランニューアキタ」の内容の充実化を図る。

- ・事業内容：・総合パンフレットの校正・観光素材の撮影
・印刷・発送

※観光PRポスターの増刷は在庫状況に応じて実施

2 秋田犬ふれあい情報センター事業 6,500千円

秋田犬をきっかけとした県内誘客の促進を図るため、秋田犬展示等を実施する。

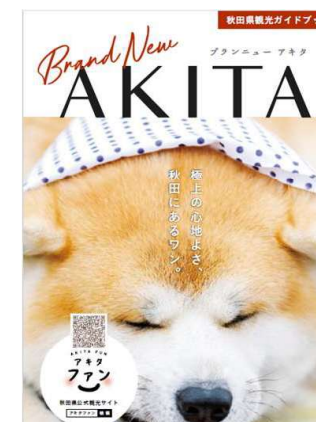
- ・事業内容：・秋田犬総合案内所運営（HP、リーフレットによる情報発信）
・秋田犬常設展示／臨時展示（秋田犬・ドッグトレーナー等派遣）

- ・場 所：秋田犬展示（エリアなかいち）／臨時展示（駅・空港等）

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



総合パンフレット「ブランニューアキタ」



エリアなかいちでの展示（※イメージ）

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

19 秋田ならではのツーリズム推進事業（教育旅行誘致事業）

事業目的・背景・課題

首都圏を主要ターゲットとし、新学習指導要領で重視される探究学習やSDGsの視点を取り入れた質の高い教育旅行プログラムを提供するため、秋田独自のコンテンツ（洋上風力発電・大曲の花火など独自の文化体験）の磨き上げやプロモーションを実施する。

事業内容

1 教育旅行のための態勢整備

2, 283千円

- ・ 教員招請による教育旅行受入施設等へのフィードバック及びコンテンツのブラッシュアップの実施
- ・ 事業内容：首都圏教員を対象とした招聘ツアーの実施
コンテンツのブラッシュアップ等

2 教育旅行誘致活動

326千円

- ・ 首都圏を主要ターゲットとしたプロモーションの実施
- ・ 事業内容：さいたま市学校キャラバンの実施
東北教育旅行セミナーの参加（主催：東北観光推進機構）

事業スキーム

事業形態：1 委託、2 直営（旅費等）

事業イメージ



首都圏教員を対象とした招聘ツアーの様子



R7東北教育旅行セミナー（東京会場）の様子

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

20 アウトドアツーリズム推進事業

事業目的・背景・課題

アウトドア体験商品の造成、磨き上げからOTAサイトへの登録掲載までを支援するとともに、関係自治体等と連携した世界自然遺産「白神山地」を活用したプロモーションを展開し、国内外からの誘客を図る。

事業内容

1 アウトドアアクティビティを活用した誘客促進事業 12,912千円

- ・OTAによる販売及び新規コンテンツ造成等を支援するため、セミナーや体験モニターツアー等による伴走支援を実施する。
- ・観光大使等による体験リール動画の撮影とSNS等による情報発信を実施する。

2 世界遺産を活用した誘客促進事業 5,482千円

- ・青森県及び周辺市町村と連携してアウトドアイベント「SEA TO SUMMIT」を開催する。
- ・世界遺産を有する6都道府県が連携し、情報発信や商談会等を実施する。

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



シャワークライミング



SEA TO SUMMITの様子（カヤック、自転車、登山）

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

21 白神山地保全推進事業

事業目的・背景・課題

白神山地の世界遺産としての価値と素晴らしさを将来にわたって守り伝えるため、自然環境の保全を図りつつ、ここでしかできない体験を提供する観光コンテンツとして磨き上げ、サステナブルツーリズムの推進による利活用を図る。

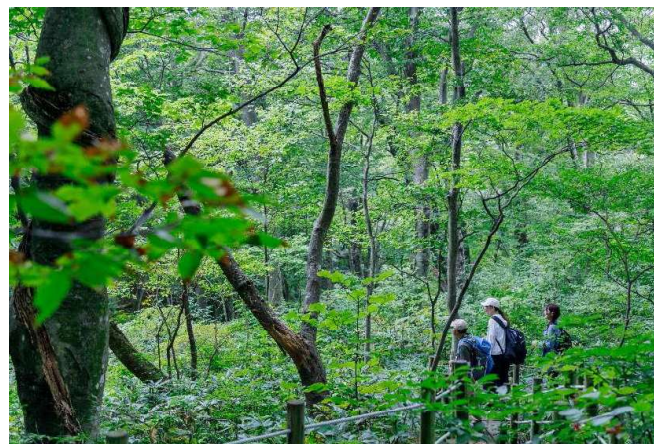
事業内容

- 1 白神山地環境教育推進事業** **5, 237千円**
白神山地の保全に対する意識向上と、将来的な保全活動を担う人材育成を目的とし、次代を担う子どもたちに白神山地の魅力や価値を伝える環境教育の場を提供する。
事業内容：自然体験教室、巡視員体験教室の開催 等
- 2 白神山地総合ガイド育成事業** **2, 855千円**
白神山地世界遺産地域の保全と価値の普及を担うため、地域に深く精通し、安全管理と環境教育に関する高度な知識・技能を持つ「遺産地域ガイド」を養成する。
事業内容：遺産地域のルートガイドング技術や安全管理等実技講習
あきた白神認定ガイド更新講習 等
- 3 白神山地エコツーリズム推進事業** **8, 622千円**
白神山地の保全と利活用を両輪で推進するため、質の高いガイドの育成や、データベース等を活用した利活用体制の強化を図るほか、モニターツアーを通じた認知度向上と魅力発信に取り組む。
事業内容：自然と文化を絡めたエコツアー商品の造成
遺産地域の巡視及び保全業務
データベースサイトとガイドデスクの連携
魅力発信のためのモニターツアー 等

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



白神山地の魅力発信とガイドの育成

お問い合わせ先：観光戦略課 誘客・周遊促進チーム（018-860-2261）

22 市場横断型インバウンド誘客加速化事業（インバウンドデジタルプロモーション事業）

事業目的・背景・課題

海外の旅行客と秋田の情報の接触機会を増やし、秋田の認知度拡大を図るため、ターゲット市場の主要メディアの記者を招請し発信力の高いウェブ記事を制作・配信するほか、海外向け配信サービスを活用したプレスリリースを各国メディアへ戦略的に展開することで、インターネット上の秋田県関連情報を増加させる。

事業内容

インバウンドデジタルプロモーション事業

31,599千円

①対象国のウェブメディアを活用した秋田の情報発信

- ・対象国主要メディアの記者を招請し発信力の高いウェブ記事を制作・配信することで、対象国における訪日個人旅行者のインターネット上での秋田県関連情報の接触機会を増やし、効果的に本県の認知度拡大を図る。将来的に認知度拡大から旅行者の来訪意欲の向上を図る。
- ・対象国：香港、中国、韓国、タイ、豪州 各2本ずつ

②海外プレスリリースの配信による情報拡散

- ・対象国におけるメディアでの情報拡散を行うため、「秋田県」の訪日旅行関連のトピックスをプレスリリースとして、海外向け配信サービスにより、海外メディアに直接配信することで、秋田県の情報の総量を上げる。
- ・対象国（回数）：アジア太平洋（1回）
台湾（4回）、香港（2回）、中国（1回）、韓国（1回）、
タイ（1回）、豪州（1回）
- ・発信の内容：観光イベントやトップセールス、
サイトリニューアル等のトピックス

事業イメージ



メディア招請の様子

事業スキーム

事業形態：委託

お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 インバウンド推進チーム（018-860-2265）

23 市場横断型インバウンド誘客加速化事業（体験コンテンツ等掲載促進事業）

事業目的・背景・課題

県内観光事業者の海外OTA（※）への体験コンテンツの掲載促進を図ることで、海外OTAサイトの発信力を活用した秋田の認知度や旅行者の利便性を向上させ、インバウンド誘客の拡大を図る。

事業内容

体験コンテンツ等掲載促進事業

5,112千円

- ・訪日客が秋田を訪れるきっかけを作り商品選択肢の幅を拡大するため、ターゲット市場での利用率の高い体験型OTAへ観光施設チケットや体験コンテンツを掲載する観光事業者の取組を支援する。
- ・観光事業者の支援に当たっては、OTAの操作方法の他、他県での販売実績の好事例や商品造成におけるポイントや工夫を委託事業者から観光事業者に提供してもらうことで、掲載や販売継続のハードルをクリアすることにも繋げる。

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



事業イメージ(生成AIで生成)

（※）OTA：オンライン・トラベル・エージェンシーの略で、実店舗を持たずインターネット上で旅行商品を販売する旅行会社

お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 インバウンド推進チーム（018-860-2265）

24 市場横断型インバウンド誘客加速化事業（外国語版観光情報サイト運営事業）

事業目的・背景・課題

旅行者の利便性向上とデジタル化に対応した情報発信体制の構築を図るため、外国語版観光情報サイトをリニューアルするほか、プロモーション効果を可視化し評価する仕組みを導入することで、効果的・効率的な誘客事業を推進する基盤を構築する。

事業内容

外国版観光情報サイト運営事業

53,550千円

①外国語版観光情報サイト「STAY AKITA」のリニューアル

- ・海外から検索した際の秋田の観光情報の「見つけやすさと予約しやすさ」を向上をさせるため、本県の海外向け公式ウェブサイトのSEO（検索エンジン最適化）を強化するほか、AI検索に対応したものにリニューアルする。
- ・リニューアルオープンの時期：令和9年1月
- ・対応言語：6言語（英語・簡体字・繁体字・韓国語・タイ語・フランス語）

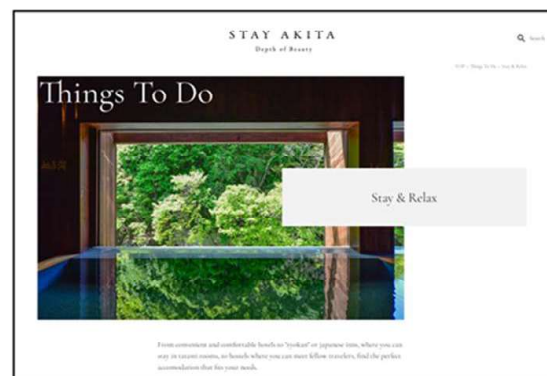
②プロモーションの効果分析の内製化

- ・観光セクションの職員等が、観光事業を統一的な観点で評価する基盤を構築するため、観光プロモーションの成果や実績を共通のフォーマットで可視化できるツールを導入するほか、マニュアル作成や職員研修を通じて、庁内で分析を内製化できる環境を整備する。

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



現行の観光情報サイト（PC版）



現行の観光情報サイト（モバイル版）

お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 インバウンド推進チーム（018-860-2265）

25 インバウンド誘客拡大事業（アジア市場誘客拡大事業／東北・新潟広域連携事業）

事業目的・背景・課題

アジアのターゲット市場における本県の「旅行先」としての認知度を高めるため、訴求力の高い情報発信や現地セールスを行うほか、海外の旅行会社を仲介するランドオペレーターと連携した県内観光関連事業者のセールス力強化を図る。

事業内容

1 アジア市場誘客拡大事業

64,435千円

①ターゲット市場への戦略的な情報発信

- ・個人旅行者を主なターゲットとした戦略的なSNSによる情報発信のほか、旅行商品の実売を前提とした現地旅行会社へのセールスや旅行博でのプロモーションを行う。
- ・対象市場：香港・中国・韓国・タイ

②ランドオペレーターと連携した観光事業者のセールス力強化

- ・インバウンド向け旅行商品の造成を加速するため、市場特性やセールスノウハウに関する研修を実施する。
- ・開催時期：令和8年6月頃、8月、12月（予定）
- ・場 所：秋田市内ほか
- ・実施内容：ターゲット市場における旅行事情のトレンドの深掘り、商談・商品化を想定したセールス技術の指導 等

2 東北・新潟広域連携事業

8,707千円

- ・東北のインバウンド周遊を促進するため、東北観光推進機構と連携した広域プロモーションを東北一体で展開する。
- ・対象市場：台湾、香港、中国、タイ、欧州、豪州、シンガポール
- ・事 業：現地旅行博への出展によるプロモーション。旅行エージェント向け観光セミナー・商談会の開催等

事業スキーム

事業形態：委託

お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 インバウンド推進チーム（018-860-2265）

事業イメージ



海外旅行会社向けのファムツアー

26 インバウンド誘客拡大事業（テーマ別誘客プロモーション推進事業）

事業目的・背景・課題

雪国ならではのスノーアクティビティや、本県の文化・芸術の魅力による誘客を図るため、SNSや現地プロモーションを通じた情報発信を展開する。

事業内容

テーマ別誘客プロモーション推進事業

9,970千円

①オーストラリアからの誘客促進

- ・夏季バカンス期（12月～1月）にスノーアクティビティを求める層を誘客するため、スキー博やSNSを通じて秋田の冬の魅力を戦略的に発信する。
- ・SNSでの情報発信
スキー場、温泉、宿、冬季の行事・まつり、食を総合的に発信
- ・オーストラリア最大のスキー博「Snow Travel Expo」でのプロモーション
- ・オーストラリアの主要メディア・旅行会社等へのセールス・情報発信

②フランスからの誘客促進

- ・フランスで人気の高い藤田嗣治作品や伝統工芸品、食文化を核とした現地プロモーションや自治体交流を推進することで、フランスにおける秋田の認知拡大と、特定テーマに関心の高い旅行客の拡大を図る。
- ・開催時期：令和8年11月頃（予定）
- ・実施内容
 - ・藤田嗣治作品や本県の伝統工芸品（まげわっぱ、漆器等）、加工品（日本酒・稲庭うどん等）を発信する現地プロモーション（パリ市内）
 - ・伝統工芸品の見本市への出展（パリ市内）
 - ・藤田嗣治と縁のあるランス美術館・ランス市との交流促進

事業イメージ



スノーアクティビティ



秋田県立美術館「秋田の行事」
【出典：県立美術館リーフレット】

事業スキーム

事業形態：委託

お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 インバウンド推進チーム（018-860-2265）

27 インバウンド誘客拡大事業（台湾誘客促進強化工業）

事業目的・背景・課題

台湾チャーター便の運航継続と利用促進について、安定した誘客と本県の認知向上を図るため、現地航空・旅行会社への支援や知事のトップセールス等により運航継続を確かなものとするとともに、現地イベントの開催や戦略的な情報発信により誘客の拡大を図る。

事業内容

台湾誘客促進強化工業

297,787千円

①知事のトップセールス

- ・時期：令和8年7月（予定）
- ・場所：台北市
- ・内容：台湾便運航会社での路線継続の要請
現地旅行会社での秋田のPR
秋田牛・白神ねぎ・日本酒等の販路拡大 等

②現地プロモーション（秋田県食と観光フェア）

- ・時期：令和8年11月（予定）
- ・場所：台北市
- ・内容：観光プロモーション

③旅行会社・メディア招請による情報発信・旅行商品造成

- ・時期：通年
- ・場所：県内全域
- ・回数：旅行会社4回20者程度・メディア4回20者程度

④現地イベント・旅行博へのプロモーション

- ・時期：通年
- ・場所：県内全域
- ・回数：現地イベント4回程度、旅行博4回程度

事業スキーム

事業形態：委託、直営（旅費等）

事業イメージ



知事のトップセールス



食と観光フェア



海外旅行会社向けのファムツアー



お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 インバウンド推進チーム（018-860-2265）

28 台湾便交流促進事業

事業目的・背景・課題

秋田空港発着の台湾便を活用した台湾・秋田間の交流促進を図るとともに、乗客へのおもてなし等受入環境を整備することにより、安定的な運航の継続を図る。

事業内容

1 台湾便県民利用促進事業

2,000千円

- 台湾便の安定的な運航を図るため、秋田空港発着の台湾便を往復利用し、経済・文化・教育・スポーツ等の交流活動のために渡航する3名以上の団体への助成を行う秋田空港利用促進協議会に対し、特別負担金を交付する。
- 補助額：1団体あたり上限5万円
(交流目的で渡航する学生グループには最大10万円を加算)

2 受入環境整備事業

794千円

- 秋田空港を利用し、来県した外国人旅行者等へのおもてなしを実施する秋田空港利用促進協議会に対し、特別負担金を交付する。

事業スキーム

事業形態：負担金

事業イメージ



秋田-台湾便



秋田空港でのおもてなし

お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 インバウンド推進チーム (018-860-2265)

29 秋田三港クルーズ活性化事業

事業目的・背景・課題

秋田三港（秋田港・船川港・能代港）におけるクルーズ船受入環境を充実させ、港周辺の賑わい創出と寄港地観光の振興を通じて、県内各地の経済活性化を図る。

事業内容

1 秋田三港クルーズ活性化事業 4, 279千円

①クルーズ船受入・誘致に係る人材育成

- ・「あきたクルーズ振興協議会」の開催

②海外船社等招聘事業

- ・国内外のクルーズ船社やランドオペレーター等を招へいし、観光コンテンツの視察等を通じて、クルーズ船寄港時のツアー造成を働きかける。

2 秋田三港クルーズ受入環境強化事業 62, 774千円

①クルーズ船受入

- ・クルーズ船寄港時に歓迎セレモニーや特産品販売及び観光案内を実施し、旅客の利便性・満足度の向上を図る。

②クルーズ船受入時の警備

- ・クルーズ船の安全・安心な受入を確保するための特別警備を行う。

③国内外セールス

- ・海外商談会等（クルーズ見本市）への出展。
- ・クルーズ船社へのトップセールスの実施。

④クルーズ船誘致コーディネーション業務

- ・コーディネーターとの連携により、マーケティングに基づいた誘致計画を策定。船社とのコネクション強化を通じて、クルーズ船の新規寄港および継続的な寄港を促進する。

事業スキーム

事業形態：1 委託、2 負担金、委託等

事業イメージ



海外船社招へい



クルーズ船社へのトップセールス

お問い合わせ先：観光戦略課 インバウンド・クルーズ誘客推進室 クルーズ誘客チーム（018-860-2266）

30 アンテナショップ運営事業

事業目的・背景・課題

本県の「食」「物産」「観光」を一体的に売り込む拠点として、東京および福岡にアンテナショップを設置・運営し、県産品の認知度向上や販路拡大ならびに本県への観光誘客を促進する。

事業内容

- 1 東京アンテナショップ運営事業 50,120千円**

首都圏に県産品を売り込むため、「あきた美彩館」においてテスト販売を実施するとともに、店舗内外のスペースを活用して県内事業者に出張販売の機会を提供することにより、アンテナ機能の充実を図る。

また、「あきた美彩館」と連携した季節イベント等の開催により、食と観光を一体的に売り込むことで観光誘客を図る。

 - ①アンテナショップ運営強化
 - ・ 運営協議会の実施（隔月）
 - ・ 衛生管理講習会の実施（年2回）
 - ・ 店舗改善講習会の開催（年2回）
 - ②アンテナ機能充実強化・観光誘客の促進
 - ・ テスト販売や県内事業者による出張販売の実施
 - ・ 季節イベントや京急グループと連携したイベントの開催
- 2 福岡アンテナショップ運営事業 28,734千円**

北東北三県アンテナショップ「みちのく夢プラザ」を起点に、九州地域に県産品を売り込むとともに、秋田ファンの拡大、観光誘客を図るため、県産日本酒の試飲販売会や「秋田フェア」を開催する。

 - ①アンテナショップ運営強化
 - ・ 運営協議会の実施
 - ②アンテナ機能充実強化
 - ・ 県産日本酒試飲販売会の開催（隔月）
 - ・ 観光と県産品のPRを目的とした「秋田フェア」の開催
 - ・ 観光相談コーナーへの導線強化

事業イメージ



「あきた美彩館」店舗外観



「みちのく夢プラザ」店舗外観

事業スキーム

事業形態：直営（使用料、旅費、需用費等）

お問い合わせ先：県産品振興課 まるごと売込みチーム（018-860-2259）

31 第三セクター鉄道利用促進事業

事業目的・背景・課題

厳しい経営環境にある第三セクター鉄道について、日常利用や観光利用の促進等による利用拡大を図るため、県及び沿線市が連携し、各協議会が実施する取組について支援する。

事業内容

1 三セク鉄道利用促進事業

2,596千円

沿線市や事業者、商工団体等で構成する「秋田内陸地域公共交通連携協議会」及び「鳥海山ろく線運営促進連絡協議会」へ負担金を支出し、県内外へのPRや学校行事での利用促進などを支援する。

2 「秋田内陸線の旅」制作事業

1,200千円

沿線市や大館市、弘前市等で構成する「秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会」へ負担金を支出し、首都圏における観光情報の発信などを支援する。

事業スキーム

- ・事業形態：負担金

事業イメージ



秋田内陸地域公共交通連携協議会

田んぼアート（秋田内陸線）



鳥海山ろく線運営促進連絡協議会

おばこ特産品まつり（鳥海山ろく線）

32 J Rローカル線活性化促進事業

事業目的・背景・課題

厳しい経営環境にあるJ Rローカル線について、日常利用や観光利用の促進等による利用拡大を図るため、沿線自治体間の情報共有や連携を強化するとともに、沿線自治体等による取組を支援する。

事業内容

- 1 秋田県ローカル線維持・活性化協議会の開催** 220千円
県内J Rローカル線の沿線自治体、関係交通機関等が出席し、情報や課題を共有するとともに、今後の取組の方向性等について協議を行う。
- 2 岩手県と協調した沿線自治体支援事業** 6,140千円
 - ・ J R花輪線及び北上線活性化対策自治体会議への出席
沿線自治体及び秋田・岩手の両県が出席し、路線の活性化や今後の取組方針等について協議を行う。
 - ・ J Rローカル線利用促進事業費補助金
J R花輪線及び北上線の利用促進に向けた沿線自治体等による取組を支援する。

事業スキーム

- ・ 事業形態：補助
- ・ 補助対象：各沿線の利用促進協議会又は自治体
- ・ 補助率：1/2以内

事業イメージ



花輪線利用促進協議会
サイクルトレイン実証実験（花輪線）



J R北上線利用促進協議会
沿線小学生乗車体験（北上線）

33 大館能代空港インバウンド促進事業

事業目的・背景・課題

大館能代空港三往復運航定着のため、アジア・オセアニア地域におけるインバウンド誘客と、旅ナカ外国人に向けた空港圏域のアクティビティのPRを実施し、大館能代空港の利用促進を図る。

事業内容

- 1 アジア・オセアニア地域におけるインバウンド誘客の実施 18,370千円**
 - ・インバウンド誘客のためのデジタルプロモーション等を実施する。
 - ・事業内容：ANAのインバウンド向けウェブサイトにおけるプロモーションの実施
ANAは、対象国から大館能代空港までの特別運賃を設定
- 2 旅ナカ外国人を対象とした空港圏域アクティビティのPR 2,606千円**
 - ・旅ナカ外国人を空港圏域へ誘客するためのPR活動を実施する。
 - ・事業内容：包括連携協定を締結している阪急交通社のグループホテルのコンシェルジュデスクにおいて、大館能代空港圏域で楽しめる日帰りアクティビティをPRする、

事業スキーム

事業形態：委託

事業イメージ



ニセコのインバウンド外国人を対象とした誘客イベント



阪急交通社グループホテルのコンシェルジュデスク

お問い合わせ先：交通政策課 調整・広域チーム（018-860-1282）

34 文化芸術がつなぐ交流拡大事業

事業目的・背景・課題

文化芸術の振興と交流人口の拡大を図るため、「文化による地域の元気創出事業費補助金」により、県内の文化芸術団体等の取組を支援する。

事業内容・事業スキーム

文化による地域の元気創出事業費補助金 20,512千円

①通常枠

- 文化芸術団体が実施する文化振興の取組に対し助成する。
[補助率] 1/2 [限度額] 40万円 [想定事業数] 12事業

②交流人口拡大枠

- 東北規模、全国規模の交流人口の拡大に資する取組に対し助成する。
[補助率] 2/3 [限度額] 300万円 [想定事業数] 9事業

③活動応援枠

- 文化芸術団体の活動継続に資する取組に対し助成する。
[補助率] 2/3 [限度額] 20万円 [想定事業数] 3事業

④若者応援枠

- 若者のグループが実施する文化振興の取組に対し助成する。
[補助率] 2/3 [限度額] 40万円 [想定事業数] 5事業

事業イメージ



能代よさこい総おどい（交流人口拡大枠）



読み聞かせ・演劇ワークショップ事業（若者応援枠）

35 劇団公演を活用した交流人口拡大促進事業

事業目的・背景・課題

わらび座による本県の民俗芸能等をモチーフとしたミュージカルの上演により、本県の文化芸術を広くアピールし、インバウンドや県外からの誘客を図るとともに、演劇に関する企画・運営等を担う人材の育成等を行う。

事業内容

広域集客型劇場コンテンツ活用事業

16,400千円

① ノンバーバル（非言語型）・ミュージカルの上演

〔演目〕 祭シアター『LAB』

〔期間〕 令和8年8月5日～17日 ※休演日あり

〔会場〕 あきた芸術劇場ミルハス

〔概要〕 脚本・構成：横内謙介氏 演出：栗城宏氏

② 演劇分野での企画・運営等を担う人材の育成

・舞台芸術分野における企画制作、舞台運営人材の不足が課題となっていることから、わらび座が行う実際の公演等を題材としながら、公演の企画・運営等を担う人材の育成を行う。

〔対象〕 舞台芸術の企画制作に興味・関心のある学生
自身で公演を企画制作したい演者等

〔日程〕 4～7月 参加者募集
8～12月 実地研修

事業スキーム

- ・事業形態：補助 ・補助率：10/10
- ・補助対象：わらび座

事業イメージ



祭シアター第2弾「LAB」



西馬音内盆踊り（R5年度あきた無形民俗文化財万博から）

お問い合わせ先：文化振興課 調整・文化施設活用チーム（018-860-1529）

36 新県立体育館を核とした賑わい波及事業

事業目的

新県立体育館整備による賑わいを波及させるため、スポーツ観戦に訪れた観光客等に対し地域事業者が効果的なサービスを提供できるよう支援する。

事業内容

新県立体育館を核とした賑わい波及事業

17,000千円

意欲のある地域事業者（観光、飲食、宿泊等）を対象に人流データを活用した実践的なワークショップを開催するほか、関係機関が連携し課題に取り組むための協議会を設立する。

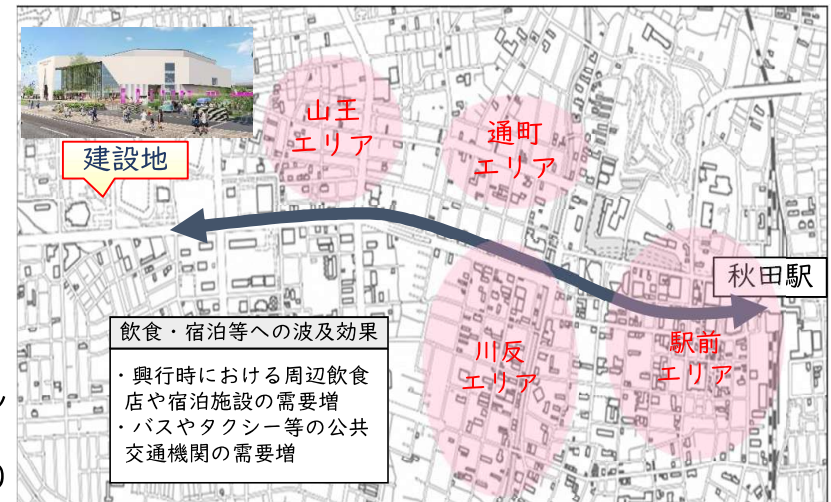
①地域事業者を対象としたワークショップの開催

- ・人流データ分析手法の研修
- ・データ分析結果を基にしたアクション検討
- ・アクション実施・効果検証（R9以降）

②関係機関による協議会の設立

- ・産・官・学・言で構成する協議会を設立し、地域事業者と連携した各種取組を実施
- ・賑わい波及に向けた課題の検討のほか、構成団体が主体的に取り組む事項の検討等

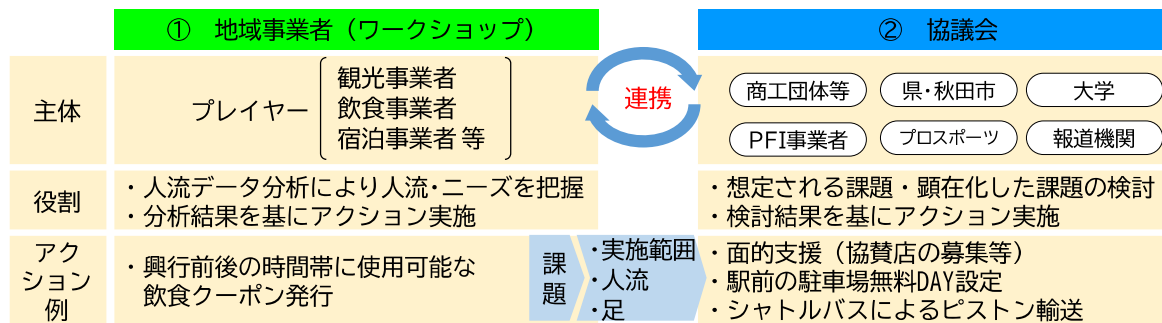
事業イメージ



波及効果を効果的に取り込むための課題や手法を検討

事業スキーム

①、②ともに企画提案競技により選定するコンサルが伴走支援



項目	年度	R8	R9	R10	R11～
地域事業者			ワークショップ		
			アクション検討・実施・効果検証		自走
協議会		設立	協議会運営		
			課題検討・構成団体の取組検討		

アリーナ供用開始

お問い合わせ先：スポーツ振興課 新体育館整備チーム（018-860-1246）

37 スポーツツーリズム推進による交流拡大事業

事業目的

スポーツツーリズムの推進による交流・関係人口の拡大を図るため、県外からの合宿誘致を行うとともに、地域の賑わいづくりや県外誘客に資するスポーツ大会・イベントの支援を行う。

事業内容・事業スキーム

1 スポーツ合宿推進事業 5,184千円

県外スポーツチーム等が県内で行うスポーツ合宿について、宿泊費の一部を助成する。

- ・補助対象：県外のスポーツ団体、プロスポーツチーム等
- ・補助額：1人1泊当たり 1千円
- ・上限額：一般 夏期 300千円、冬期 400千円、
プロスポーツチーム 1,000千円

2 スポーツ大会・イベント支援事業 8,163千円

① トップアスリート大会

- ・補助対象：トップアスリートが参加するスポーツ大会
- ・補助率：1/2以内（上限額1,000千円）

② 広域大会・大規模スポーツ大会

- ・補助対象：県内の2市町村以上が連携して行うスポーツ大会、又は、
県内施設への宿泊が延べ1,000人泊以上見込まれる大会
- ・補助率：1/2以内（上限額2,000千円、又は3,000千円）

③ 冬季スポーツ大会

- ・補助対象：地域活性化につながる冬季のスポーツ大会
- ・補助率：1/2以内（上限額1,000千円）

3 トップスポーツチームによる地域活性化事業 29,262千円

トップスポーツチームが実施する県内誘客につながるPR活動や子どものスポーツ機会の確保に関する取組等を支援する。

- ・補助対象：トップスポーツチーム3団体

事業イメージ



スポーツ合宿【大学準硬式野球部】



広域大会・大規模スポーツ大会
【100kmチャレンジマラソン】

お問い合わせ先：スポーツ振興課 調整・スポーツ活性化チーム（018-860-1239）

38 新県立体育館整備・運営事業

事業目的

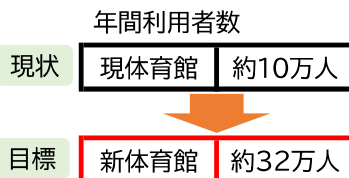
老朽化が進む県立体育館について、今後の人口減少を見据えて、関連した機能を有するスポーツ科学センターと集約化を図り、PFI手法により令和10年秋までに整備する。

事業内容

新県立体育館整備・運営事業

4,939,965千円

- ・総事業費：約325億円
- ・事業期間：令和7年5月～令和26年3月
- ・R8内容：造成工事、建築工事等
- ・委託先：秋田アリーナPFIパートナーズ（株）



○令和10年秋の供用開始後は、Bリーグの秋田ノーザンハピネッツやSVリーグのアランマーレ山形（名称は令和8年2月現在）のホームアリーナとなる予定。
 ○大規模なアマチュアスポーツ大会に加え、コンサートや展示会、キッチンカーフェスティバルなど、運営ノウハウを有するPFI事業者の企画により、様々なイベント開催が見込まれる。

整備イメージ



事業スキーム

○PFI（BTO）方式

- ・事業者が施設を整備（Build）し、所有権を県に移転（Transfer）したうえで、維持管理・運営（Operate）を行う方式

項目	年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13以降
建屋			開館（アリーナ10月、体育館12月）			運営（15年6か月）		
造成・外構		準備、造成工事、第2駐車場仮整備		第2駐車場、周辺外構整備		第1駐車場、緑地・遊具広場整備		

スポーツ活動の拠点としての機能はもとより、指定避難所として防災機能の充実を図るほか、賑わい・憩い・交流の拠点として地域の活性化にも寄与する施設として整備

お問い合わせ先：スポーツ振興課 新体育館整備チーム（018-860-1246）

秋田県観光振興アクションプラン

2026年(令和8年)3月

秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課

〒010-8572 秋田市山王三丁目1-1

TEL:018-860-1462

FAX:018-860-3879

E-mail:kankousenryakuka@pref.akita.lg.jp